## ウッドスター®薬剤注入器セット

ウッドスターはサンケイ化学(株)の登録商標です。

【セット内容】注入器、薬液チューブ、吸入管、薬剤肩掛け用ストラップ、注入ノズル×2、注入孔マーカー 100本入り×2



● ウッドスター®の薬剤ボトルに取り付けて薬剤の樹幹注入ができます。

## 注意事項 ・使用方法

### (1) 薬剤注入器の準備

- ①肩掛け用ストラップの薬剤ボトルへの取付け
  - 肩掛け用ストラップの中央にあるゴムリングを広げて薬剤ボトルに装着します。
- ※ゴムリングが確実に薬剤ボトルに取り付けられていることを確認してください。 ②薬液チューブ+吸入管の組立てと薬剤ボトルへの取り付け
- i) 吸入管のソケットを薬液チューブに挿入します。
- ii) ボトルキャップを外し、吸入管を挿入します。
- iii) 吸入管のキャップ部分を締め、取り付け完了です。
- ※吸入管のキャップ(黒色)がきちんと締まっていることを確認してください。
- ※外したボトルキャップは、作業終了まで残しておいてください。薬液が残った場合に必要になります。 ③薬剤注入器への薬液チューブ・注入ノズルの取り付け
- i) 注入器後部のソケットを薬液チューブに差し込みます。
  - ii) 注入器先端に注入ノズルを回しながら取り付けます。 iii) 注入ノズルの先端が下を向くように取り付けてください。

状態であるか確認の上、作業を開始してください。

- ※薬液チューブ・注入ノズルが確実に取り付けられていることを確認してください。
- (2)薬剤注入前の準備 ①薬剤注入器への薬液の吸い上げ
  - i) 吸入管キャップを外し、注入ノズルが入れられるよう僅かに上げ、吸入管の先端が薬液に浸っていて薬液が吸入できる
    - 状態であるか確認の上、作業を開始してください。 ii) 注入器をやや上向きにして注入先を薬剤ボトルに入れ、注入グリップを 5~10回程度ゆっくり握り、薬液をシリンダー
    - とチューブ内へ吸い上げてください。 ※注入器の初期設定注入量は5.0(ml) に設定されていますが、そのまま吸い上げて構いません。
    - ※薬液吸い上げは、注入ノズルから薬液が出ない程度でやめてください。
    - ※エアー抜き作業はこの後の手順で行いますので、シリンダー、チューブ内にエアーが入っていても構いません。
  - ②薬剤注入量の調整 注入量調整ウィンドに表示される数字を、注入量調整ダイヤルを回して調製して下さい。ダイヤルの目盛りは0.5刻みで

  - 表示できます。 ③薬剤注入器内等のエアー抜き i) 吸入管キャップを外し、注入ノズルが入れられるよう僅かに上げ、吸入管の先端が薬液に浸っていて薬液が吸入できる
    - ii)注入器をやや上向きにして注入先を薬剤ボトルに入れ、注入グリップを3~4回程度連続して握り、シリンダーと チューブ内のエアーを抜いてから注入作業を開始してください。 ※4ml設定の場合、直径2~5mm程度のエアーが1つ程度残る場合でも、注入液量に大きく影響するものではありません。
- (3)薬剤注入の処理手順 ①処理樹への薬剤処理準備
  - i) 注入孔の作成
    - ・ドリルを使って、注入孔をあけます。

(4) 薬剤処理後の作業手順

- ・孔径は、さくら10mm、やぶつばき、プラタナス7mm とし、角度45°深さ6~7cm程度の注入孔をあけます。 ii) 注入孔へのマーカー設置
- ・注入孔を見失わない様、注入孔にマーカーを差し込みます。 ②薬剤注入処理

i) 注入孔マーカーを抜き、ノズルを注入孔底付近まで挿入し、注入グリップをゆっくり握り薬液を注入してください。

- ii)注入後、注入グリップを握ったままノズルを引き抜き、薬剤注入器を水平にしてからグリップを緩めてください。
- ※注入グリップを急に強く握ると、注入孔からの薬液飛散の恐れがありますのでご注意ください。 ※薬剤注入作業時、薬剤ボトルは水平に保ちながら作業を実施してください。薬剤ボトルが水平に保たれていないと、
- ①薬剤が残っている場合(吸入管が薬液に浸っている場合) i) 吸入管を薬剤ボトルから外し、薬液面上まで引き上げ、注入ノズルを薬剤ボトルへ差し込んでください。

・構造上、薬剤ボトル内に薬液が余ります。上記と同様に、シリンダー及びチューブ内の薬液を薬剤ボトルに戻してください。 ・残液は、有効期限内であれば次回の作業時に使用できます。薬剤ボトルをボトルキャップで密栓し、冷暗所に保管し、

ii) 注入グリップをゆっくり握り、シリンダーおよびチューブ内の薬液を抜き取り、薬剤ボトルに戻してください。

iv) 有効期限内であれば次回の作業時に使用できます。 ※ゴミ等を入れないよう注意して作業してください。注入器の詰まりの原因になります。

iii) 薬剤ボトルをボトルキャップで密栓し、冷暗所に保管してください。

注入器へのエアーの混入等、注入作業に支障を来す場合があります。

- ②薬剤を使い切った場合 i) 継続して注入作業を行う場合
  - ・(4) ① i) ~ ii) の操作で、薬剤ボトルにシリンダー及びチューブ内の薬液を戻してください。 ・使用を終えた薬剤ボトル内の薬液を新しい薬剤ボトルに移してください。
  - ・その後、前記と同じように注入の準備します。

ならない場合がありますので、注意してください。

薬液飛散の恐れがあります。

注入の様子

新しい注入器に取り替えてください。

- ・新しい薬剤ボトルに吸入管を差し込む際には、薬剤ボトルから薬液が溢れださないことを確認しながら作業してください。 ii) 注入作業が終わった場合
- 次処理作業時に使用してください。 ・不要な場合、環境に影響がないよう適正に処分してください。

※使用後は薬剤注入器内に薬液が残らないようにして、保管してください。

(1)本薬剤注入器は、ウッドスター®専用です。また樹幹注入以外の用途へのご使用は避けてください。 ②注入作業開始前の注入器内等のエアーをできる限り抜いてください。不十分な場合、薬剤注入量が正しい注入量に

# 4ml 設定の場合、直径2~5mm程度のエアーが1つ程度残る場合でも、注入液量へ大きく影響するものではありません。

- 使用上の注意 ―

- ③ 薬剤注入器および吸入管への薬液ホースの装着は、確実に実施し、薬液漏れがないことを確認した上で、注入作業を開始し てください。
- (4)薬剤注入作業時、薬剤は水平に保ちながら作業を実施してください。薬剤が水平に保たれていないと、注入器へのエアー 混入等、注入作業に支障を来す場合があります。 (5) 薬剤注入時、注入グリップは急に握らず、ゆっくり握り注入してください。注入グリップを急に強く握ると、注入孔からの
- されますので注意してください。 注入器内の水洗いはしないでください。シリンダー内の濁り(白化)が目立つようになった時が取り替え時期ですので、

(6) 注入作業終了後は注入器内の薬剤を確実に抜いてください。不十分な場合、残存薬剤による注入器の劣化等が想定

- (7) 構造上、薬剤ボトル内に少量の薬剤が余りますので、環境に影響がないよう適正に処分するか、ボトルキャップで密封して 保存すれば次回処理作業時に使用することも可能です。(有効年限内にご使用にください。)

